



1_ 8月29日完成予定のRDC宮城完成予想図 2_ 台車にオリコン（コンテナ）を載せ、小売店ごとに仕分け 3_ コンピューター制御による自動化された最先端のシステムを導入 4_ 屋上には太陽光パネルが設置され、クリーンエネルギー創出に貢献（2～4は既存センターの様子）

ら東北一円に商品を配送して
ますが、広い東北を1カ所の物
流センターでカバーすることは
難しく、また取り扱い商品が生
活必需品であるがゆえに、南東
北地区での安定した商品供給体
制の確保に向け、南東北での物
流センター再建に乗り出しまし
た。交通の利便性や雇用確保の
面から白石インター工業団地で
の再建を決め、復興と更なる飛
躍を誓いました。

RDC宮城の概要

パルタックでは大型物流セン
ターのことをRDC (Regional
Distribution Center) と呼
び、今回新設のセンターの名称
は「RDC宮城」となります。
総事業費は47億円、年間出荷額
は南東北エリアを中心に
350億円を見込んでいます。

RDC宮城は同社の他のセン
ターと同様に、耐震構造や3日
間稼働できる非常用自家発電装
置を設置し、地震などの自然災
害が発生した場合でも、継続し
て商品供給ができるよう配慮が
なされています。また、環境面
にも配慮がなされており、LED
照明や廃棄タンポールの再資
源化に加え、屋上には太陽光パ
ネルを設置し、クリーンエネル
ギー創出にも貢献できるセン

ターとなっています。

RDC内では、メーカーから
仕入れた35,000種類の商
品を保管し、小売店からの発注
に合わせ商品の仕分け作業を行
い出荷。小売店からは、ダンボー
ルケース単位の発注とシヤン
プー数本、歯ブラシ数本など1
個単位の単品発注とがあり、単
品発注が約6割を占め、コン
ピューター制御による自動化さ
れた最先端のシステムが導入さ
れる一方で、単品発注に対応す
るための人手に頼る作業も重要
になっているそうです。

ピッキングカートと呼ばれる
台車にオリコン（小売店との通
い箱となる折りたたみ式のコン
テナ）を載せ、受注に合わせシヤ
ンプー数本、歯ブラシ数本とい
うように棚から商品を取り出し
オリコンに入れることで、商品
を小売店ごとに人手で仕分けし
ていきます。この作業は、納品
先の小売店舗で効率よく快適に
作業できるように、機械にでき
ることは機械に任せ、丁寧さ、細
やかさを必要とする作業は人手
による作業を行うという最適な
バランスで構成されています。

Interview



東北支社長
まき みのり
牧子 充伯さん

一新センター建設に伴う抱負を聞かせ
てください。

東日本大震災発生直後から、生活者
の皆様对生活必需品を安定して供給す
ることに取り組んできました。そのよ
うな中で、南東北エリアで再びセンター
建設する運びとなり、大変うれしく、
また本社の決断に感謝しています。震
災での経験を忘れず、商品の安定供給
に努めたいと考えています。当社の仕
事は、人の手による作業もあり、多く
のパート従業員の皆様のご協力が必要
です。地元に着き、また地元の方々

にかわいがっていただける拠点にしたいと考えています。

白石インター工業団地進出のポイントは何？

インターチェンジに隣接し、南東北3県の県庁所在地(仙台市、
福島市、山形市)のほぼ中央に位置。交通アクセスに大変優れた
ところに魅力を感じました。また、周辺人口も多く、当社のような
企業の事業拠点として最適と感じています。

稼働の予定は？

8月29日完成、10月初旬から出荷を開始する予定です。

雇用は？

200人程度のパート従業員を採用する予定です。



代表取締役社長
おりべ こうし
折目 光司さん

このたび、ご縁があり「白石インター
工業団地」に進出させていただき運
びとなり、関係方々には、心より感謝申
上げます。

当社も東日本大震災により、仙台空
港近くの物流センターが津波により閉
鎖に追い込まれましたが、同じ南東北
エリアの白石の地で物流センターを再
建し、市民の皆様と一緒に復興に努
め、更なる飛躍を図りたいと考えて
しております。

新センターは、耐震構造や非常用自
家発電装置を導入し災害に強く、かつ
太陽光パネル設置など環境にも配慮した施設となっております。
これにより、化粧品・日用品、一般用医薬品など生活に欠かせない
商品を、小売業様を通じて平時はもとより災害時においても、
南東北一円の生活者の皆様にしっかりお届けしてまいります。

また、RDC宮城完成に先立ち、新入社員として白石市をは
じめ地元の方13人にご入社いただいております。今後、センター稼
働に伴いパート従業員の採用を進めてまいりますので、地元の方
々にご協力をお願いしたいと考えております。

新しい仲間として、市民の皆様の温かいご支援を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。

白石インター工業団地に 株式会社Palitac(パルタック)の物流センターがまもなく完成!

株式会社Palitac(本社:
大阪市中央区・折目光司代表取
締役社長)の大型物流センター
が、白石インター工業団地でま
もなく完成。そこで同社の主な
事業や操業開始を迎えるセン
ターの概要をご紹介します。

パルタックは、明治31年に創
業、114年の歴史ある企業で、
東証一部上場企業です。社員2、
300人、パート従業員6、
300を合わせた従業員数は
8、600人。事業内容は、主
に化粧品・日用品、一般用医薬
品の卸売事業を行い、全国に営
業・物流網を確立し、年間の売
上高は7、858億円です。

化粧品や日用品、一般用医薬
品卸売業の最大手企業で今回完
成するセンターのような大型物
流センターを全国14カ所に保有
しています。1、100社のメー
カーから商品を仕入れ、ドラッ
グストアやホームセンター、コ
ンビニエンスストアなどさまざ
まな小売業3、300社の店舗
に商品を届けています。

同社が扱う商品は、化粧品・
口紅、シヤンプー、コンディショ

ナー、石鹸、洗剤、ハミガキ、
胃薬や風邪薬、健康食品やサプ
リメントなど挙げればきりがあ
りませんが、いふなれば人々の
「美と健康に関連する生活に密
着した商品」を取り扱っていま
す。

安価なコストで正確に商品を
届ける仕組みが同社の強みとい
われ、約65、000種類の商
品を1日約700万個、全国の
各センターから出荷していま
す。しかもその出荷は99・
999%(ファイブナイン)正確
であり、ほとんど間違いがない
というから驚きです。

パルタックは、「生活密着商
品」を取り扱っているため、企
業理念の中で「私たちは流通を
通じて、お取引先の繁栄と人々
の豊かで快適な生活の実現に貢
献します」と明記し、事業を
行っています。これを実現する
ため同社は、平成10年以降1、
100億円を投資。効率の高い
物流センターの建設を進め、全
国物流網を確立し、流通全体の
効率化を進めています。

市民の皆さんが、買い物に行
かれた際に、お店で、欲しい時

に、欲しい物を、手軽に買うこ
とができるのも、パルタックの
ような企業の存在があるからか
もしれません。

白石の地で 物流センターを再建

パルタックは、大阪を本社と
する企業ですが、東日本大震災
の被災企業でもあります。岩沼
市の仙台空港に程近い場所に設
けていた物流センターが、津波
被害で閉鎖に追い込まれまし
た。また、東北にはもう1カ所
岩手県花巻市に物流センターを
設けていましたが、こちらも操
業が停止。しかし「生活に必要
な商品をいち早く被災地に届け
たい」との強い思い、そして阪
神淡路大震災での経験を活か
し、従業員はじめ協力企業一丸
となって復旧に取り組み、4日
後には商品の出荷を再開しまし
た。北海道から被災地へ商品を
運び込んだり、配送に必要なガ
ソリンを独自に調達したりして
混乱する被災地へ商品を供給し
続けました。

現在同社は、岩手県花巻市か

RDC宮城

- 所在地：白石市福岡深谷南沖8番地2
(白石インター工業団地内 ☎0224-22-2161)
- 敷地面積：38,327㎡ ○建物面積：11,510㎡
- 延床面積：37,589㎡ ○年間出荷額：350億円(見込み)
- 総事業費：47億円
- 雇用人数：従業員50人、パート200人

株式会社Palitac(パルタック)

- 設立：昭和3年12月22日(創業：明治31年12月1日)
- 本社：大阪府大阪市中央区
- 資本金：158億円
- 売上高：7,858億円(平成25年3月期)
- 事業内容：化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業、物流受託事業
- ※東証1部上場企業